

第15期町田市立図書館協議会

第4回定例会議事録

日時：2013年11月28日（木） 午後3時20分～午後4時20分

場所：町田市立中央図書館 6階ホール

出席者

- （委員） 玉目哲廉（副委員長）、市村省二、久保礼子、
清水陽子、多田美恵子、中林君江、砂川とき江（計7名）
- （事務局） 近藤裕一（副館長）、佐久間隆司、田村俊二
- 欠席者 山口洋（委員長）、尾留川朗（館長）、高野和美、千田実
- 傍聴者 なし

2013年11月28日

第15期図書館協議会 第4回定例会次第

議事録確認

第15期第3回定例会議事録

報告事項

《館長報告》

1) 教育委員会 11月1日(金)

< 報告事項 >

・「第7回文学館まつり」の結果報告について(文学館)資料1

2) その他

・耐震補強工事に伴うさるびあ図書館の臨時休館について資料2

協議事項

1) 図書館評価について

・2012年度外部評価を受けての図書館の見解資料3

2) その他

・地域館視察の内容、日程について

議事録

玉目副委員長 それでは、第15期の第4回の会議を開きます。

初めに、議事録の最終案が事務局から出ています。これについては、メールで流されていましたが、どなたも異論はないということで、本日最終案が出ていますので、これで確認したいと思います。よろしいですか。

では、報告事項に入ります。

最初に館長報告ですけれども、本日、館長が不在のため、近藤副館長よりお願いします。

近藤副館長 それでは、先ほどもありましたけれども、館長は12月の市議会に向けて一般質問の答弁の検討会に今日1日入っていますので、私の方で代理ということで報告をさせていただきます。

資料が議事録の次のところになります。

まず、教育委員会が11月1日金曜日にございました。その中で図書館関係としては文学館のことですけれども、「第7回文学館まつり」の結果報告ということでいたしました。こちらについては10月27日ということでお天気にも恵まれまして、2013年度は750名という今までにない多くの参加があったということでございます。あとは資料をご覧になっていただければと思います。

2)その他ですけれども、耐震補強工事に伴うさるびあ図書館の臨時休館についてです。こちらについては、一度夏に準備をしたのですけれども、入札が不調に終わってしまったということで、その後いろいろ調整を図りながら、今回、11月半ばに業者も決まり、12月2日から来年の3月末までを予定として工事に入ります。

工事内容といたしましては、3番のところですが、耐震的に問題がある3点、中二階の柱に炭素繊維を巻いて補強を行うということと2階に上がる屋外の階段を建物と一体化する、あと、一部コンクリートブロックの壁を使っているところがありますので、それを壊して軽量鉄骨壁にするという工事内容になります。それに今回、耐震とは直接絡まないのですけれども、あわせて和式のトイレの一部を洋式のトイレに変えていく工事も行います。工事は12月2日からということなので、もう館内とかホームページではお知らせしていますけれども、12月1日の広報でお知らせする形になります。

今、さるびあ図書館で行っているサービスのうち、移動図書館については12月2日から4日間は工事の準備のためお休みをしますけれども、それ以降は通常どおり運行するとい

うことと、学校図書館支援貸出につきましても、中央図書館の資料を使って行うということで、できることはきっちりやっていくということで進めてまいります。

工事も、まだきちんとした確定工程表が出ていないのではっきりしたことは言えないのですが、3月末が完了予定ということですが、少しでも早く終われば開館を早めていくということで今、業者と打ち合わせをしているところでございます。

報告事項は以上2点でございます。

玉目副委員長 ただいまの報告に対しまして、ご質問はありますか。

多田委員 資料1の報告の中で3、主なイベントの(3)落語会ですけれども、このデータが違ってきます。これは前回の出演者の方です。今回はマジックジェミーさんと春風亭何とかさんという方が2名でした。

近藤副館長 失礼しました。こちらについては文学館からもらった資料をそのまま出してしまったので、その辺、正しいことを伝えていきたいと思えます。申し訳ありませんでした。

多田委員 ほかの内容に関しては出席していないのでわかりません。以上です。

玉目副委員長 ただ、これは教育委員会でこの報告で報告されている訳ですね。

近藤副館長 はい。今ご指摘があったことについて、この資料は教育委員会で使った資料を私はそのまま持ってきたので、誤った報告をしてしまったという可能性がございます。

玉目副委員長 わかりました。その件については、事務局で確認をして、訂正とかは教育委員会の方に必要があるかもしれないですね。

近藤副館長 今の内容は、文学館の担当者ともきちんと確認して、教育委員会の事務局である学校教育部との調整は文学館を通じて行いたいと思えます。

玉目副委員長 ほかにありますか。

清水委員 11月14日に団体利用者懇談会がさるびあ図書館であったと思うのですが、その報告はないのでしょうか。違うところですか。

玉目副委員長 そこでもいいです。

近藤副館長 今ありましたとおり、11月14日2時から、さるびあ図書館で団体の利用者懇談会が開催されております。大変申し訳ないのですが、これについては当日の議事録がまだできていません。私は参加できませんでしたので、今日は割愛させていただいて、また次回以降ということにさせていただきたいと思えます。

玉目副委員長 では、報告ができ次第、協議会の方にはメールでアップしていただけますか。

近藤副館長 では、さるびあ図書館から議事録が上がりましたら、メールでお送りさせていただきますということをお願いします。

玉目副委員長 ほかにありますか。

なければ協議事項に入りたいと思います。

本日は2点あります。1点目は図書館評価について、2012年度外部評価を受けての図書館の見解、これは資料3になります。これは図書館の方から説明をしてもらいます。2番目に、その他として地域館視察の内容、日程についてということで、1)が終わり次第こちらに入りたいと思います。

最初に、図書館評価について、図書館の方からお願いします。

近藤副館長 この前、外部評価をいただきまして、その後、図書館の方で皆さんからいただいた意見をきっちりそれぞれの担当が読み込んで、見解という形で今日資料をお配りしました。

内容については、評価の担当からまとめた形で説明をしてもらうようにいたします。

海老澤担当係長 図書館評価プロジェクトの海老澤です。よろしくお願いたします。

先日は外部評価を10月内に出していただきまして、大変ありがとうございました。委員の皆様はとても大変だったと思うのですけれども、とても感謝しております。

外部評価のコメントをいただきまして、図書館でそれをまた各担当に提示いたしまして、外部評価について何かまた図書館協議会に伝えたいことですか、質問といったものがあれば出してくださいということで意見を集めました。また、例によって大変細かい表になってしまったので恐縮ですけれども、特に意見を受けてこうしますとか、ご意見をいただいたのですけれども、こうなのですみたいな意見を入れている箇所が十数カ所程度ですがございます。特に、そういったものを入れる必要がないと判断した担当、コメントをいただいて、それに対して「はい」というと変ですけれども、そういった形の担当は斜線であえてどうこうという意見は入れておりません。

以前までですと、協議会からいただいたご意見に、これはどういうことを指しているのですかとか、内容の意味を教えていただきたいというような文面もあったのですけれども、今回は全体的に現状のご説明ですとか、今後こうしていきたいみたいな回答しかないので、特に協議会からもこの後ご回答いただくようなことは必要がないかと思うのですけ

れども、参考までにお読みいただければ幸いです。

それから、2枚目、 - 1 - 1の「利用者の拡大」のところですが、こちらの手違いで発表数値が異なってしまいましたので、協議会にも大変ご迷惑をおかけしたのですが、正しい数字はこれこれですというようなものを見解欄に入れてあります。この後、12月に予定していますが、2012年度の図書館評価を外部評価とあわせた形で報告書をつくるのですが、その際に、ここの数値が、取組結果のところと違っていたため、訂正をさせていただきたいと思っております。

今日の見解の資料が8枚あるのですが、その次、一番最後にもう1枚、訂正前、訂正後という表になった資料をつけさせていただいているかと思えます。 - 1 - 1の「利用者の拡大」の項目は、最初はこの数字で出してしまいましたが、こちらの手違いで余計な数値が含まれておりましたので、この数値に変更して、自己評価もAからBに下げさせていただきますという訂正文を添えて報告書を出したいと思っておりますので、それについてご了解いただければと思っております。よろしく願いいたします。

玉目副委員長 ということは、今回は特に見解については評価を受けての見解ということで、具体的に協議会と意見を交換しなくても大丈夫だということなのですか。

海老澤担当係長 そうです。

玉目副委員長 先ほど言われた - 1 - 1のところですが、これ自体は評価をしていく過程で本来なら見つからないといけない評価の数字だったのではないかと思うのですが、このことについては、そういうふうなニュアンスが非常に強かったので、当然誤り自体を図書館側の内部評価の段階で本来は発見しないといけなかった数字だろうと思うのですね。

ですから、今回、AからBに下がっているのですけれども、目標数値から見たときには、必ずしもBでとどまっているような数字ではないのではないかという気がするのです。外部評価自体はC評価になっていますけれども、評価にかかわった人たちの項目の点検の仕方に問題があったのかなという気がするのですけれども、いかがですか。

近藤副館長 数字の誤りがあった訳ですけれども、今までもお話ししているかもしれませんが、新年度、2012年度が終わって統計が固まって、この数字を使って表をどんどん埋めていく訳です。自己評価をしていく訳ですけれども、そこでまず担当が、そういう数字を使いながら自己評価の案をつくる。それを係長会でチェックして、そこで修正とかを加えながら完成したところで、最後に私も含めてですが、管理職が確認して最

最終的に皆さんに評価していただくレベルまで持っていくという手順をとっている訳です。今回については、その中でチェック機能が働かなかった。2回あったはずですがけれども、それが働かなかったという点は大変申し訳なく思いますので、反省して今後きちんとして生かしていきたいと思っております。

玉目副委員長 わかりました。

ほかに、この見解のところをご覧になっていただいていた方がですか。

中林委員 - 2 - 1の最初のところですがけれども、予算削減について2011年度比40%削減されていますということはすごいですね。それを開示していくようにというのが外部評価で出ていて「積極的な開示を考えています」と書かれてあるので、それは大賛成なのですがけれども、実は一市民としては、そういうのは大々的に教えていただかないとわからないのです。図書館というのは、私もそうですけれども、町田の図書館を利用している者は、本当に図書館のありがたさというのを感じていると思うのです。ですから、これだけ削減されたんだよということがわかれば、やはり借りる立場にある人でも耳をそば立てるという部分があるのです。やはり知らないということは賛成も反対もできないということですので、それはうんとやってほしいような気がします。

ずっと以前に、やはり最初に削減されましたときに、削減されたのでというので私は署名に協力した記憶があるのですがけれども、そのときには図書館の入り口に、そういったことがすごく表示されていまして、あらっ、大変と市民としては思ったのです。町田市の方は図書館を利用する方がすごく多いですから、そういったことがわかれば、要請があれば、できる限りのことはしたいという気持ちをみんな持っていると思うので、大いにそれは開示していただきたいと思います。

近藤副館長 40%削減というのがこの年であって、今は来年度に向けて予算編成をしている時期なので、今の段階で来年度のことはお話しできないのですがけれども、また来年の3月の議会が終わって予算が確定した時点で、どの程度というのはありますけれども、ある程度大幅であれば、きっちりお知らせしていく。あるいは、そういう削減が仮になかったとしても、今、町田市の図書館の運営、資料費はこのぐらいでしていますよとか、そういった情報は確かにホームページでも載っていないので、そういう工夫を今後していきたいと思います。

玉目副委員長 今年度も、たしか前年度に比較すると15%ぐらい削減されている訳ですね。一律に各館が15%ずつ削減されているという状態になって、そうすると、だんだん図

書費自体が目減りしていく状態に歯どめがかからないという状況が続いていく危険性があると思うのです。今年度の段階でも、恐らく地域館とか、ここでもそうかもしれないですけれども、資料収集が目いっぱいになっていくというか、先細りでやっていけないような状況になっていくのではないかという気もしてしょうがないのですけれども、そこら辺はどうなのですか。協議会では答えにくいかもしれないのですけれども。

近藤副館長 今、副委員長がおっしゃったとおり、昨年度から今年度にかけても10%ぐらい、ならば減っていると思います。今年度については、その前ですか、鶴川駅前図書館の準備があって、そこは割合があまりあてになりませんが、全体として見ればやはり減っている。当初、2年前から比べれば、例えば複本の数を減らすとか、そういったレベルではないぐらい影響があるというのは、現場で選書に携わっている職員にとっては感じているし、私もそういう話を聞いていますので、機会を捉えて資料費のできるだけ現状維持、また以前の状態に戻してほしいという形で働きかけはもちろんしていきたいと思っています。とはいっても市全体の財政状況、あるいは図書館も、館は次も（仮称）忠生図書館が増えるという形で増やしていく中で、その辺をしっかりと訴えていきたいと思っておりますけれども、難しさも感じているところではあります。

玉目副委員長 ほかにご意見はありますか。

市村さん、何かありますか。

市村委員 先ほどの - 1 - 1 は訂正ということなのですが、外部評価のコメントを検討するときにも気にはなったのですが、コメントで誤りではないかと指摘させていただいたのです。その前の段階で事前に訂正を申し入れる方がいいのかと思ったのですが、今後こういったケースがあった場合、同じような形で、コメントの後で訂正いただくという形になるのでしょうか。

玉目副委員長 いや、今度は間違いがないのではないかなと思うのですが、どうですか。

近藤副館長 同じであれば、今回のような明らかなミスというのはあってはいけないことなので、今、市村委員がおっしゃったように、事前に教えていただくというのも、それはそれでありがたい気もしますけれども、今回のようなミスはもう起こさないつもりです。責任を持って提出したもののなので、やはりそこは評価としてはっきり書いていただいて結構かと思っております。

玉目副委員長 久保委員、何かありませんか。

久保委員 大丈夫です。

玉目副委員長 では、私から。 - 2 - 1の利用者アンケートですね。結局、3年ごとに予算をとって、3年ごとにしかできないような形をとっているからやむを得ないという状況があるのかどうかですけれども、結局、業者委託にするから予算がついていて、その分でそれが3年に1回なのかどうかということですが、問題は、本質的なところはそこにはないのではないかと実は思っているのです。利用者アンケートの中にいろいろな分析要素があるのだろうと思うのですけれども、それをせっかくアンケートとしてとったのなら、それを図書館の運営の中に取り込んでいけるような体制をとっていけると、3年でも無駄にはならない気がする訳ですね。

ただ、トータルとしての利用者アンケートと出されると、なかなかわかりづらいのですが、けれども、個々の地域館も全てとっている訳ですから、このアンケートの中にそれぞれの地域館の弱点も当然出てきている訳ですね。そうすると、そういうところをしっかりと次の評価に生かしていくというか、伸ばしていくために、こういうアンケートが活用されていけばいいのかと思うのですね。ですから、できるだけ利用者目線に沿った運営を図れるようだったら、そういったようなところを生かしていくのがいいのかなという気はしますね。

この評価自体も、トータルとしての町田図書館しか評価していないので、トータルの数字だけが目につくのですけれども、トータルの数字の中で伸びているところとそうではなかったところがしっかり出ている訳ですね。今日手元に配られている「町田の図書館」でもそうですけれども、これがもう少し詳しく書いてあったら、それぞれの図書館の特徴がもっとはっきり出てくるだろうと思うのですね。これを分析していくことによって、それぞれの館の抱えているようなところがもっとはっきりわかってくるだろうと思っています。

近藤副館長 今、副委員長がおっしゃったとおり、アンケートをとっただけでは意味がありませんので、それをどうやって生かしていくかが大切なことだと思いますので、今回、アンケートでまとまっていることを見ながら、図書館の事業計画を進めていく上で、それらも参考にして、例えばここある館の弱点です、ここある館のいいところですよというところを個別的に検討できるようなことも、どの場でとなると各館の係長を初め館の責任者にお願いしていくことになると思いますけれども、そのような形で進めていきたいと思っています。

玉目副委員長 今年初めて評価された方もいますけれども、ほかにありますか。

清水委員 今年初めてということで、こんなにたくさんの項目で図書館からの見解がいただけないものなのかと、斜線がいっぱい引いてあって、先ほど海老澤さんから説明はたしかあったと思うのですが、それはどういうふうに考えればいいのかと自分の中でちょっと納得がいかないところなのです。斜線が引いてあるところは、私たちはどういうふうに考えればいいのかのでしょうか。

玉目副委員長 これは図書館側が外部評価を受け入れたというふうに考えるしかないので、要するに、見解が出ているところは、図書館側の外部評価に対する見解ですから、そこについては意見が出たということですね。それ以外のところについては、外部評価を受け入れているということだと思います。

清水委員 そうなのですか。

玉目副委員長 一般的にはそうだと思うのですね。

海老澤担当係長 一般的には受け入れているという考え方で大丈夫だと思うのですが、本来だったら外部評価をいただいて、それに対して、もともとはあれこれ図書館側から言わないのです。ただ、割と最初の年度の時点で、情報とか意思の疎通が図書館協議会側とうまくいかなかったような面もあったので、こう協議会のコメントでは書いてあるのですが、こんなことをやっているんだよと図書館側としても伝えたいとか、そういった意見が出たので、こういった見解を出ささせていただくようになったという経緯がありました。逆に見解が減ってきてよかったなというのが担当者側としての意見なのです。

協議会のコメントはもっともなのだけれども、図書館として現状できることとできないことがあったりもするので、斜線になっているところが全てそのとおりできませんという意思表示ではないので、その辺はご了解いただきたいのですが、見解が書いてあるところは、逆に図書館としてはこうなのですよというのをあえて訴えたいところだと逆に考えていただくとありがたいと思います。

玉目副委員長 いかがですか。

清水委員 はい、わかりました。

玉目副委員長 では、見解については、お持ち帰りになってゆっくりご覧になってみてください。評価に対しての見解ですので、今年度ももう半ば以上過ぎていきますので、そろそろいろいろなその次の年度に対する準備も少しずつ出てくるだろうと思いますけれども、とりあえず評価に対する図書館の見解については終わりたいと思いますけれども、よ

ろしいですか。

では、2番目に移ります。図書館視察の内容、日程についてということで上げてありますけれども、これはメールで予定とか、地域館視察スケジュールというのが入っていました。この中で、12月20日金曜日と1月23日木曜日に地域館を見ましようということで事務局で予定されて、その連絡が来ていますけれども、私の手元に12月20日は高野委員が都合が悪い以外は、ほかの委員は都合がよろしいという連絡が来ています。それから、1月23日は、僕が都合が悪い以外は、ほかの方々は都合がよろしいということで来ています。12月20日については、地域館は金森から回るのですか。

近藤副館長 今こちらで案という形で出したのは、12月20日は中央図書館を出発して木曾山崎図書館、鶴川図書館、鶴川駅前図書館、そこではポプリホールの見学も入れたいと思っていますけれども、金森図書館、それで中央図書館に戻ってくるということです。

玉目副委員長 集合が1時ですか。

近藤副館長 ちょっと半端な時間で申し訳ないのですけれども、集合が12時20分、商工会議所前、図書館側の道路……。

玉目副委員長 12時20分。

近藤副館長 ええ。あの道路ですね。12時半には出発したいと思っています。中央図書館に戻ってくるのが、あくまでも予定ですが、4時半という形でいかがかと思っています。各館には、前後すると思いますけれども、30分以内で見学を終わらせる、鶴川駅前だけちょっと長くとりたいと思っています。

玉目副委員長 はい。12月20日は12時20分、中央図書館の下の道路の向かい側に商工会議所が……。

近藤副館長 向かい側というか、図書館側ですね。

玉目副委員長 図書館側の和服屋さんの隣、歩道のところに彫刻があるのですけれども、あそこら辺に12時20分に集合ですね。それでよろしいですか。

もしこの日、急に都合が悪くなったとか、風邪を引いて身動きができないとか、そういうことが起きたら、事務局に連絡を入れてください。そうしないと、いつまでも待たないといけなくなりますので、それはやむを得ないことだと思います。

1月23日は、今のところ、堺図書館プラス大戸小学校と武蔵岡中学校の小中一貫のゆくのき学園を見ると。大戸小学校と武蔵岡中学校というと、横浜線よりも奥の方に……。

近藤副館長 もっと奥に。

玉目副委員長 八木重吉の生家の前を通ってちょっと先ですかね。

多田委員 大地沢より少し手前。八木重吉さんのおうちよりはちょっと手前です。

玉目副委員長 ちょっと手前。では、八木重吉の生家の前まで行って引き返した方がいいかな。そのような予定になっていますけれども、この日、僕は研修でいませんで、よろしく願います。ここでは午後零時で大丈夫ですか。

近藤副館長 1月の今のところの予定ですけれども、やはり12時20分に集合していただいて、30分には出発、まず堺図書館へ行って30～40分見学、移動図書館が出発していなければ移動図書館がその場で見られると思うのですけれども、そこからゆくのき学園に行ってみ学。今度、中央図書館に戻ってくる途中で、その日の日程を見ると、相原中央公園で移動図書館の業務をやっているの、そこも少し見られるかと思っています。そこに寄って中央図書館に戻ってくる予定が4時50分ぐらいを考えています。

玉目副委員長 一本道を真っすぐどこまでも行くので、結構大変かもしれないですね。地域館視察については12月、1月で予定されていますので、12月と1月の定例会は企画をしないということになります。ただ、12月に議会がありますね。議会の状況が、仮に図書館の一般質問とかがあったら、2月まで延ばしてくるとかなり長い期間になってくるので、場合によったら12月の議会が終わってから、メールでも議会の状況とかをお知らせしていただくと助かるかなと思います。

近藤副館長 そうしましたら、12月の議会の一般質問と文教社会常任委員会が終了した時点、あと、12月の教育委員会も12月の半ばにありますので、12月の議会と教育委員会が終わった時点で、いつも出している館長報告みたいな形でレジュメをつくって、資料もメールで送るようにしたいと思います。

玉目副委員長 わかりました。

そのほかに何かありますか。

事務局 先ほどの地域館視察の件で1点ご了承いただければと思っているのですが、1月23日の件です。今、堺図書館プラスゆくのき学園ということで一応予定は立てさせていただいているのですけれども、実は時間のスケジュール的には結構遠くて、帰りが遅くなってしまおうというか、5時を過ぎてしまうのではないかというタイトな状況です。前回の協議会の中で、せっかく向こうまで行くので堺図書館だけではということで、どこか小中学校の学校図書室の視察などができればということで、ゆくのき学園という名称が出てきたので、とりあえず予定に上げさせていただいているのです。学校ともこれから調整をと

るのですけれども、場合によってはゆくのき学園ではなくて、もうちょっと手前の小山ヶ丘ですとか、小中学校が幾つか町田街道沿いにありますので、そういったところでもよろしいでしょうか。何が何でも小中一貫ゆくのき学園がいいということであれば、ここに行きたいと思えますけれども、時間的余裕を考えると、横浜線より手前もありがたな思っているのですけれども、いかがでしょうか、ご意見等がありましたら。

玉目副委員長 いかがですか。僕は参加しないので。

多田委員 こちらの方になかなか行くチャンスがないと思ったので、一貫校の図書室を見学してみたいと思ったのですけれども、清水委員から何かここは見ておいたほうがいいのではないかというご意見があれば、そちらも聞いてみたいと思うのですが、いかがでしょうか。

清水委員 確かに、ゆくのき学園というのは小中一貫で、今は町田市に1校しかないところなので、私もゆくのき学園になってからは図書館を見せていただいたことがないので、見たいなという気持ちはあるのですけれども、皆さんが一般的な町田の学校図書館として見るとしたら、ちょっと違うという気はするのです。小中一貫で、今あの学校は多分小中で図書館が1つしかないと思うのです。でも、普通の町田市の小学校、中学校は別々にそれぞれ学校図書館があるので、大分雰囲気は違うと思います。できれば両方見られた方がいいと思うのですけれども、確かにあそこまでなかなか行けないので、こんな機会がないと行けないというのはあると思います。近くでしたら一中でも、どこでも見られると思うので、それは時間の問題かと思えます。どちらもお勧めです。

事務局 わかりました。では、今お話がありましたように、せっかく堺の方まで行きますので、機会がないとなかなか行けないということもありますので、ゆくのき学園を第一優先で交渉して、ここで予定を進めさせていただきます。万が一、どうしても学校の都合が悪かったりした場合には、またほかを考えさせていただくということで、どこか学校図書館を1つということでもよろしいでしょうか。では、この方向で進めさせていただきたいと思えます。

玉目副委員長 もう1つ方法としてあると思うのだけれども、これは非公式の協議会だから、ここから出発して、ここに帰ってこないといけないということはないのだと思うのです。だから、相原でおろしてもらえば、帰りは多分町田街道が混むからスケジュールがタイトになるのではないかと思うのですね。だから、運転手さんは大変かもしれないけれども、相原でおろしてもらえば町田まですぐだから、十何分もあれば帰ってしまうから、

そういう方法もあるのではないかと思うのです。

事務局 そうですね。何が何でも解散をここ中央図書館前として、全員ここまで戻ってくる必要はないと思うので、今、玉目副委員長のお話にあったような形の方法を検討したいと思います。その辺は、来年1月下旬の話ですので、これから事務局と委員長、副委員長とで詰めて、またその都度お知らせしていくという形でよろしいでしょうか。

玉目副委員長 はい。

事務局 済みませんでした。

玉目副委員長 そのほかにありますか。

実は11月14日の団体の利用者懇談会が開かれた訳ですけども、団体に登録している人から言われたのが、登録の更新が団体貸出の場合、毎年しないといけないということを聞きました。個人の登録者の場合は3年に1度になっていますけれども、しかも利用案内を見るとお願いしていますということが書いてある訳です。そうすると、例えば団体の場合に、同じような要件にして、ただし、代表者が変わったとか、それから団体の設置場所、事務所が変わったとか、そういうことがあった団体については、変更の都度、登録を更新し直しするというような条件にしてもらおうと、団体だけが毎年毎年登録の更新をしなくても済むのではないかと思うのですね。

現実には図書館の運営規則には、そのようなことは一切触れていない訳ですね。ですから、運用というか、団体の貸出要領みたいなものがあるかどうか知りませんが、そういうものの中で運営されているとすれば、その変更は比較的容易にできるのではないかと思うのですが、いかがですか。

近藤副館長 団体の貸出を1年でやるとか、そういった内容は、正式な名称は今思い出せないのですが、内規で定めて運用しているという形になります。ですので、今そういったご意見を伺ったので、団体の貸出の担当に、その意見も伝えて、まずは検討してもらおうということにしたいと思います。

玉目副委員長 検討したことについて返事をいただきたいと思うのです。基本的に検討して何がだめでできないのか、あるいはできるのかということをお知らせしていただきたい。

もう1つ、これは前期の図書館協議会が緊急提言を教育委員会に対してした訳ですけども、それについて館長が教育委員会から返事があるであろうと言われていたのですが、もうかなりたっていますので、返事があるとすれば、そろそろ返事が来るころではないか

と思っている訳ですけれども、返事そのものがあるのかなのか、それもわかり次第ご連絡をいただきたいと思っています。

このほかに、どなたか何かありますか。

なければ、本日、中央図書館の館内を見せていただいた訳ですけれども、それについての感想でも構いません。

多田委員 なかなか見る機会がないところを見せていただきまして、ありがとうございました。障がい者サービスのところは初めてを見せていただいて、大変参考になりました。ありがとうございます。

中林委員 実にたくさんの方が想像以上の作業に携わっているということがわかりまして、とても勉強になりました。

もう1つは、これはまだ今日でなくてもいいのですけれども、近藤さんをお願いしたいのです。障がい者サービスの録音室ですけれども、録音室についての管理というのは市がやっていらっしゃるのでしょうか。実は録音機がしばしば故障しまして、そして市の広報はそこで録音しているのですけれども、それ以外にも障がい者の記事を集めたテープをあそこで録音してリスナーさんに配る。それはグループの名前としては朗奉の中の「あすなろ」というのですけれども、ほかにもう1つ、あそこの録音室を使って日常生活や料理の問題などを録音しているグループに「せきれい」というのがあるのです。そのグループがあそこで録音するときに、録音機の故障が生じて突然大声が出たり、録音できなくなったりで、今年に入ってですけれども、最近とても難儀しているのです。

修理は直接かかわる技士さんをお願いしているのだと思うのですけれども、あそこを管轄しているところがやらないと、障がい者サービスの方もお困りだろうなと。私は直接録音できなかった場面には立ち会っていないのですけれども、それで機器をいつもちゃんと使えるように調整していただけるのはどこの担当になるのでしょうか。図書館ではないのですね。その辺もはっきりわからないので、先週、定例会があったのですけれども、みんながとても困った、困ったといって、どこへ持っていったらいいのだろうということだったのです。だから、これは協議会のこととは違うかもしれませんが、直接にすぐ利用者さんに被害が及ぶことなので、わかりましたら教えていただければと。

近藤副館長 今のお話でハンディキャップのサービスの録音室のことですけれども、録音室の管理は図書館なので、私も故障がよく起きているという話は今初めて聞いたのですけれども、まずは担当に言っていただいて、私の方も、今日は担当の係長が出張している

とさっき言っていましたのであれですけれども、確認をとって、その結果を団体に返せばいいのですか。

中林委員 もし結果がわかりましたら、団体の事務局に返していただけるとありがたいのです。

近藤副館長 調べたいと思います。

中林委員 先週、みんなどうしたらいいだろう、どこへ行ったらいいだろうと右往左往という感じでした。ここの協議会外のことなのですからけれども、お尋ねした訳です。

近藤副館長 調査してみたいと思います。

中林委員 お願いします。

玉目副委員長 砂川さん、何かありますか。

砂川委員 初めて見学させていただいたので、興味深く拝見しました。ありがとうございました。

選書も見せていただいて、毎週毎週本当にたくさんの本が出ている中から、ああいうふうに本を選んでいただいているのだなと思って、本当にありがたいなと思いました。これから利用するのにも、忘れないようにしようと思っています。

あと、管理というか、DVDなども見つけやすいように管理されていて、とてもきれいだったので少し驚きました。もう少し雑然とされているのかなと思ったのですが、ありがとうございました。

玉目副委員長 市村さん、いかがですか。

市村委員 私も、公共図書館の見学はふだん余りさせていただく機会がないのですけれども、特にバックヤードを見学させていただくのは今回初めてで大変勉強になりました。本当にたくさんの方がいろいろな仕事をされているのだなと思いました。今度の地域館の視察も楽しみにしております。

玉目副委員長 では、久保さん。

久保委員 カウンター業務が大切だということはいろいろな講演会とかで表で話を聞くことが結構あるのですけれども、バックヤードというのはそれぞれ担当している方がいるのだなと。私は前にもバックヤード見学に参加したことがあるのですけれども、図書館の業務というのは表だけではなくて、その表を支えるためにいろいろあるのだなというのは、一般の方も知る機会があったらすてきなのだろうなと思いました。そのくらい勉強になりました。

個人的には、書庫にある本がとても興味深くて、リクエストすると書庫にありますよというので、私などは興味のある本を持ってきてもらうことがたびたびあるのですけれども、自分のリクエストではなくて、開架みたいに書庫にある本が、あっ、こういう本があると見る機会が普通の利用者にあつたらすごく楽しいなと思うぐらい、私が今日立っている位置にもすごく興味深い本がいっぱいあって、こんなに宝物がたくさんあるのだなと改めて思いましたという感想です。

玉目副委員長 清水さん、いかがでしたか。

清水委員 私もバックヤードを前にも見せていただいたことがあったのですが、今日は障がい者のサービスのところとか、そういうところは初めてだったので、とても興味深く見せていただきました。

さっき書庫の話があったのですが、カメレオンコードというのも初めて見まして、貼ってあるところがばらばらだったりして、何でこういうふうになるのかなとちょっと不思議な気はしました。全集などでも、がたがた貼ってあって並んでいたのに、何で同じところに貼らないのかなと、ちょっと気になってしまったのですが、あれはなぜなのかなと今でも何かもやもやしたものが残っています。どうもありがとうございました。

玉目副委員長 以上ですね。

久保委員 玉目さんは。

玉目副委員長 いや、僕はありません。ここの図書館を開館する前に5年ぐらい準備をして、開館して半年ぐらいはここにいたのですが、そこでここを去りましたので、真ん中の階段を通ったのは二十数年ぶりでしたので、懐かしく思いました。以上です。

これで本日の議事は全て終わりました。ほかになれば会議を閉じたいと思います。

多田委員 次回の協議会はいつの予定ですか。

玉目副委員長 地域館の見学が12月と1月に予定されていますので、第5回の定例会は今のところ2月27日を予定しています。

事務局 会場は確保できています。

玉目副委員長 よろしいですか。それでは、本日はどうもお疲れさまでした。

了